

制度活用でお得マネジメント(第6回)

令和の補助金。中小企業IT化に朗報

2019.07.22

2019年秋に消費税アップが予定されている。売上げの維持・拡大に不安を持つ中小企業は多いだろう。だが、マイナス要因だけではない。中小企業・小規模事業者のIT化を支援する「IT導入補助金2019」の二次公募が7月17日～8月23日まで受け付けられている。IT導入補助金事業は平成時代の2018年度にも実施された。令和時代の2019年度のIT導入補助金事業は、補助金額が大幅にアップする。2018年度の上限額100万円から同450万円に増額された。交付が決定すれば、導入するITツール(ソフトウェア費・導入関連費など)の1/2以下の補助が受けられる。費用面からIT化の取り組みを諦めていた中小企業はチャンスだ。

ハードウェアや、独自のシステム開発は対象外

IT導入補助金事業の目的は、大企業に比べて遅れる中小企業・小規模事業者の生産性向上だ。自社の経営課題やニーズに合ったITツール導入費の一部を政府が補助し、業務効率化や売上げアップを支援する。

例えば、販売管理や受発注処理を効率化させるITツールや、情報の一元管理に役立つグループウェアなどの導入に活用できる。

ここでいうITツールとは、ソフトウェア・サービスなどだ。企業の課題・ニーズに対応するものが登録されている。補助対象となるITツールおよびIT導入支援事業者はIT導入補助金2019のWebサイトで確かめられる。

ITツールは、勤怠管理や在庫管理などの業務パッケージソフトや、RPAなどの効率化パッケージソフト、グループウェアなどの汎用パッケージソフトのほか、セキュリティ製品やデータ連携ツールなどのオプション、導入コンサルティングや保守サポートの役務に関わる費用も補助対象となる。

一方、パソコンやタブレットなどのハードウェアや、独自のシステム開発、ソフトウェアの大幅なカスタマイズは対象外となる。注意が必要だ。

```
(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start': new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var
f=d.getElementsByTagName(s)[0],j=d.createElement(s),dl=!l?'dataLayer':'&l='+l+'';j.async=true;j.src=
'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefore(j,f);
})(window,document,'script','dataLayer','GTM-K9XWQF5');!function(f,b,e,v,n,t,s)
{if(f.fbq)return;n=f.fbq=function(){n.callMethod? n.callMethod.apply(n,arguments):n.queue.push(arguments)};
if(!f._fbq)f._fbq=n;n.push=n;n.loaded=!0;n.version='2.0';n.queue=[];t=b.createElement(e);t.async=!0;
t.src=v;s=b.getElementsByTagName(e)[0];s.parentNode.insertBefore(t,s)}(window,document,'script',
'https://connect.facebook.net/en_US/fbevents.js');fbq('init','996021997138363');fbq('track','PageView');/*
window.dataLayer = window.dataLayer || [];function gtag(){dataLayer.push(arguments);}gtag('js',new Date());
gtag('config','AW-686888305');
```

最大450万円まで補助金を増額… 続きを読む